

【取材のお願い】 尾鷲伝統の味をお届け 「尾鷲甘夏」出荷開始

J A伊勢管内の尾鷲市で、春の訪れを告げる「尾鷲甘夏」の出荷が順調に進んでいます。今年4月4日に初出荷を迎え、今後4月下旬頃まで続く予定です。

「尾鷲甘夏」は尾鷲市開拓農業協同組合が1959年から生産を始めた、60年以上の歴史がある柑橘。現在組合員17名（出荷者は6名）が同市天満地区を中心に栽培されており、約90トンを県内市場へ出荷する見込みです。是非、取材をお願いします。

尾鷲甘夏

品種は「川野夏橙（カワノナツダイタイ）」

甘夏畑は全て南向きの斜面にあり、果実は直射日光と尾鷲湾の反射光を受けて育ちます。

収穫後20日間は常温で保管した後、一つひとつ袋掛けをし、出荷が始まる4月頃まで酸を抜くことで、酸味と甘味のバランスのよい甘夏に仕上がります。



出荷作業の様子



「尾鷲甘夏」出荷作業

日 時：4月4日（木）9：00～

場 所：J A伊勢尾鷲柑橘選果場（尾鷲市大字向井495）

※取材にお越しいただける場合は、事前に必ずご一報ください。

※写真の提供も可能です。

【お問い合わせ先】

J A伊勢 経営企画部企画広報課（広報担当：東）

TEL: Tel:0596-62-1125 FAX: 0596-62-1126

Email: azumaa@ise.jamie.or.jp